

平成 20 年 10 月 1 日

ワーキング委員各位

共同研究室運営委員会
(担当：検校)

共同研究室において耐用年数を越えている機器および、利用頻度が高い為に更新・アップグレードが必要と思われるものを下記に記載いたしました。

申請の際に下記の機器に関してご検討をよろしくお願いいたします。

機器更新希望リスト

*階別一覧

現有機器	設置場所 (納入年度)	機器の状況
ルミノイメージ アナライザー (LAS-3000)	16 階 (H18 年度)	利用頻度が非常に高い為、予約が困難な場合が多い。またトラブルの際には機器使用ができなくなるため利用者から同様機器の設置希望が多い。
卓上微量超遠心機 (Optima TLX)	16 階 (H4 年度)	現有機器は故障中で修理ができない状況である。同等機種が 1 台あるが、購入より 10 年が経過し、故障も多くなっている。
全自動血球計数器 (MEK-6258)	15 階 (H8 年度)	1 サンプル毎 90 円の利用料で運営中であるが、導入より 10 年以上経過し、故障、トラブルが多発している。施設内に同等機器はなく、トラブルが発生すると、利用希望者のサンプルが無駄になることがある。
自動細胞解析装置 (LSR)	15 階 (H13 年度)	データ解析時にも本体を立ち上げる必要がある為、解析時間分のレーザーの寿命を縮めてしまう。解析専用ソフトウェア・PC 導入でレーザーの時間劣化を軽減することができる。
共焦点レーザー顕微鏡 (TCS-SP5)	14 階 (H19 年度)	① 本装置の用途の大部分は、多重染色サンプルの検出である。現有機器の状態では同時に 2 重染色以上の検出は困難で利用者の要求に応えられない状況である。データの信頼性からも検出器を 3 ch へ増設することが望ましい。
① 検出器 (2ch) ② Z ステージ ③ LAS AF SP5 Micro Lab		② 共焦点レーザー顕微鏡を使用した画像取得には Z 軸方向のデータ取得が重要である。ガルバノステージ接続で Z 方向の分解能がさらに高くなる。
		③ 現在は、デモ版がインストールされているため使用に制限がある。正規版ソフトの購入により FERT や FRAP 等が容易になる。
パラフィン包埋 ブロック作製装置 (EG1160)	13 階 (H10 年度)	本装置は標本作製業務におけるパラフィンブロック作製を担っており、ほぼ毎日利用している。ここ数年は故障修理が頻繁におきている為、新規機器導入が望ましい。